# 目的

このドキュメントの目的は、OpenHack に経時的に行われた重要な変更点を強調することです。

コンテンツの主要な更新ごとに、リリース日が含まれるセクションを追加し、主要な変更点を箇条書きとして要約しています。

## 2021 年 12 月の更新:

サーバーレス OpenHack が次の方法で更新されました。

**コードとしてのインフラストラクチャ:**

いくつかの課題が更新され、サーバーレスのコードとしてのインフラストラクチャを探求したいメンバーがいる Hacker チームにボーナス コンテンツが提供されるようになりました。

この作業は、主要な課題コンテンツを達成するための開発作業と並列して行うことを強くお勧めします。コンテンツを順番に実行すると、チームが最小限の課題を完了できなくなる可能性があります。

このボーナス コンテンツの競合に関心のあるリソースがチームに存在する場合は、主要な課題コンテンツを完了するメンバーと、IaC コンポーネントを構築するメンバーの間での継続的なコラボレーションを促進するようにしてください。

課題の解決方法と使用するリソースについては制限がないため、IaC ボーナス資料の期待される結果の所定リストは必ずしも使用できません。このボーナス資料に対しては最善の判断をする必要があります。ソリューションについて議論しているとき、選択したソリューションに基づいて IaC コンテンツの目標を設定するようにチームを促します。

**Containers:**

OpenHack での課題は、使用すべきサーバーレス コンピューティング コンポーネントを厳格に規定していません。そのため、Containers は実行可能なソリューションです。Hacker による Containers の使用を妨げるものは何もありません。Containers を使用して課題を解決することに関心のある Hacker チームをより適切に支援するために、課題にリファレンスのリンクが追加されました。

**課題 3:ビジネス ニーズをサポートするために API のフル セットを展開および構築する**

この課題は、課題の間に使用されるシークレットを保護するための要件を含めるように更新されました。この課題を解決している間、Hacker チームがシークレットを管理するためのベスト プラクティスを使用していることを確認する必要があります。たとえば、接続のために Key Vault を使用するかマネージド サービス ID を使用すること (またはその両方) を促します。

**課題 4:API の管理レイヤーをデプロイして API をモニターおよび追跡する**

API Management での API の構成に関連して、この課題にコーチのガイダンスが追加されました。課題は、Hacker が要件を満たすためにそれらの API をどのように構成するかを考える必要があることを確実に認識できる方法でステージされています。コーチは、彼らがここでつまずくことを許容すると同時に、あまりにも長時間にわたって四苦八苦させないようにする必要があります。

**課題 8:メッセージングのパターンと Virtual Network 統合**

この課題には、VNet を介してルーティングされたトラフィックのみが使用されるようにするために、プライベート エンドポイントを使用するように Service Bus を構成するという更新された要件があります。Virtual Network は、これを実現するために必要なサブネットでプロビジョニングされています。Hacker は、適切なプライベート エンドポイントで Service Bus を構成し、パブリッシュとサブスクライブの両方の機能を適切に構成することを確認する必要があります。